

\*\*\*\*\*

## 2016年度第3回音環境運営委員会議事録(案)

記録：平光

\*\*\*\*\*

A. 日時 2016年11月22日(火)17時20分～19時15分

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 佐久間哲哉(主査),池上雅之,稲留康一,岡野利行,古賀貴士,杉江 聡,田中 学,田端 淳,  
中澤真司,岩本 毅(幹事),平光厚雄(幹事)

欠席者 井上勝夫,大嶋拓也,川井敬二,坂本慎一,佐藤史明,佐藤 洋,羽入敏樹,濱田幸雄,

(敬称略)

## D. 提出資料

2016年度第3回音環境運営委員会議事次第

No.3-0 2015年度第2回音環境運営委員会議事録(案)

No.3-1 2016年度第3回環境工学本委員会資料

No.3-2 書籍の刊行候補一覧(企画・広報WGより)

## E. 議事記録

## 1. 前回議事録の確認(資料No.3-0)

- ・ 修正事項1:2(1)「AIJES「都市・建築空間・・・」→「AIJES都市・建築空間・・・」.
- ・ 修正事項2:2(22)「環境工学者名簿は・・・」→「環境工学者研究者名簿は・・・」.
- ・ 修正事項3:3(2)「対象の推薦候補」→「大賞の推薦候補」.
- ・ 上記修正の上,承認された.

## 2. 環境工学本委員会の報告(資料No.3-1)

- (1) 小委員会活動成果報告書の提出:各小委員会は2/8(水)までにサーバーに保存する.
- (2) 2017年度日本建築学会技術部門設計競技:「ユニバーサル社会を支える環境技術 多様な利用者の安全快適な環境デザインをめざして」.
- (3) 男女参画共同推進委員会:「男女共同参画推進行動計画について」が示された.
- (4) 大賞候補推薦:投票の結果,環境工学委員会から檜崎先生(大阪大)推薦をすることになった.
- (5) 学会賞選考委員会委員(論文部会):大鶴先生に依頼することとなった.
- (6) 奨励賞選考委員会委員:大嶋先生は継続.
- (7) 論文集委員会委員:岡田先生は継続.
- (8) 技術報告集委員会委員:委員推薦依頼があった.
- (9) 大会若手優秀発表賞:本委員会で承認された.空気環境は受賞者の割合が18%とやや多くなっていた.
- (10) 2017年度大会プログラム編成会議:4/18から4/20に変更となった.
- (11) 2017年度大会研究協議会:「安心・安全なエコスクールの構築」
- (12) 2017年度大会研究懇談会:「ユニバーサル社会を支える環境技術ー技術部門設計競技の応募作から見えた未来ー」.競技の審査員が発表を行う.
- (13) 建築学会環境基準(AIJES)の改定等:制定から5年が経過するAIJESの検討結果が報告された.学校施

設は改定，音声伝送は改定無。

(14) 建築学会環境基準 (AIJES) の絶版：「建築環境・設備設計図書に関する情報共有のための学会規準・同解説」の絶版申請が行われた。

(15) AIJES への免責事項の記載：構造委員会，規準・仕様書のあり方検討タスクフォース報告書を元に，AIJES の免責事項記載案が示された。

(16) WG の廃止，設置：廃止，設置申請が行われた。鉄道固体音測定検討 WG は廃止となり，固体音評価法検討 WG が設置された。

(17) 2017 年度予算配分案：基本部門は 80.1%，研究部門は 19.9%とした。音環境部門は過去の実績により，昨年度より +49,000 円となった。

(18) 図書館デジタルアーカイブス Web 公開：音環境からは音シンポジウム資料を提案しているが，時間の関係上，本委員会での議論は無し。

(19) 催し物：第 77 回音シンポジウム「pu センサを用いた音響計測の現状と可能性」は 2/2 (木) に，第 78 回音シンポジウム「スピーチプライバシーの確保を目的とした建築設計～音声情報漏洩防止～」は 3/3 (金) に開催予定。

(20) 環境工学本委員委員長選挙：次回本委員会 2/23 に実施。次期音環境運営委員会主査も出席。

(21) 予算：予算は確実に執行すること。

### 3. 審議事項

(1) 技術報告集委員会委員推薦について

- ・ 中西先生を推薦の候補者とした。主査から依頼の上，決定する。

(2) 次期音環境運営委員会主査について

- ・ 次期主査については，佐久間主査一任とした。

### 5. 各小委員会・WGの活動報告

① 固体音小委員会 (稲留主査)

- ・ 前回 9/28，次回 11/25 予定。
- ・ 引き続き床衝撃音の予測手法の検討を実施。
- ・ 鉄道固体音測定検討 WG は固体音のデータ収集を引き続き実施。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会 (濱田主査)

- ・ 前回 10/4，12/19 予定。
- ・ 鉄道騒音の評価法について検討を実施。

③ 建築音響測定法小委員会 (杉江主査)

- ・ 前回 11/2，次回 1/19 予定。
- ・ シンポジウムに向けた議論を行うとともに，pu センサに関する共同実験を小林理学研究所で実施。

④ 室内音響小委員会 (佐藤主査)

- ・ 室内音響設計事例出版企画検討 WG は廃止。他の 3 つの WG は継続。

⑤ 音響数値解析小委員会 (大嶋主査)

- ・ 前回 10/5，次回 1/10 予定。

- ・ 宮崎氏(ヤマハ)をゲストスピーカーとして、音楽ホールの音響設計実務への数値解析の適用状況の報告.
  - ・ シンポジウム準備を審議. 11/8日(火)に音シンポジウム「音響数値シミュレーションのプロセス」を開催し、40名以上の参加があった.
- ⑥ 音環境規準検討小委員会(古賀主査)
- ・ 前回10/7, 次回12/14予定.
  - ・ 複合建物の規準や音源室と受音室の組み合わせ等を検討しているが、「複合建築物」という用語はあるが「複合建物」という用語はない等の問題がある.
  - ・ 今年度中に、再度アンケートを実施予定.
  - ・ 学校施設AIJES改定準備WGは11/14に開催. 保育施設、大学の追加等について検討.
- ⑦ 企画・広報WG(中澤主査)
- ・ 前回10/3, 次回1/11予定.
  - ・ 第60回音シンポジウムで纏めた法規制等の見直しを行う予定.
  - ・ 資料No.3-2を元に本運営委員会で議論を行った. 書籍の刊行について、WGと出版社側の評価が示された. 設計者の教科書となるようなものが必要という意見があったが、誰が実施するのかが問題. 各小委で必要性等について確認することとした.
- ⑧ 集合住宅騒音防止住まい方マニュアル刊行小委員会(池上主査)
- ・ 前回10/3, 次回1/11予定.
  - ・ 住まい方マニュアルについて、規準・仕様書のあり方検討タスクフォース報告書を参考に表現を修正. 今年度中の発刊を目標.

## 6. 関連学協会からの情報

### (1) 建築音響研究会

- ・ 12/16 東京大学生産技術研究所, 1/26 東海市芸術劇場, 2月休会, 3/3 九州大学大橋キャンパス.

### (2) 騒音・振動研究会

- ・ 12/13 新潟大学駅南キャンパス, 1/20 神戸大学, 2/17 熊本大学, 3/7 小林理学研究所.

次回以降予定: 2/23(木)

以上